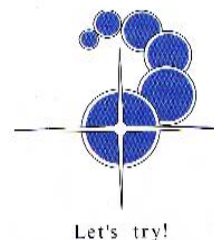


進路だより第1号

— 7月模試特集号 — 令和元年5月28日(火)



◎6月29日(土) ベネッセ総合学力テストに向けて

4学年、5学年ともに新たな学年になって初めての模擬試験が6月29日(土)にあります。新潟県内の高校生はもちろん、日本全国の高校生が受験します。4学年、5学年ともに1年間に3回あり、今回は国語、数学、英語の3教科です。今までの勉強の成果を存分に発揮してください。出題範囲、難易度、勉強の仕方など様々な疑問点があるかと思いますが、今回は各学年の教科担当の先生方から模試に向けてのアドバイス等をいただいております。模試に向けた学習の参考にしてください。また、例年通り1週前の6月22日(土)にプレ模試を実施します。プレ模試をすることによって、自分の苦手な分野があらかじめわかります。そこから本番に向けて復習することで実力のアップにもつながります。是非計画を立てて実践してください。

3学年の皆さんは、1年後の模試受験を想定して、模試の教科や時間を確認し、合わせて先生方からのアドバイスを読んで、来年に向けての心構えを育てましょう。後期からは高校で学ぶ範囲の学習が始まります。模試の内容にいち早く入るのですから、今回の内容は知らなければならないのです。イメージをふくらませましょう。

《4学年》6月22日(土)の日程

8:30~ 朝学活
8:40~ 9:40 国語(60分)
9:50~11:10 数学(80分)
11:20~12:20 英語(60分)
(昼休み)
13:05~13:45 自己採点
13:45~13:50 終学活

29日(土)の日程

8:30~ 朝学活
8:40~ 9:40 国語(60分)
9:50~11:10 数学(80分)
11:20~12:20 英語(60分)
~13:00 自己採点

《5学年》6月22日、29日(土)の日程

8:30~ 9:50 国語(80分)
10:00~11:40 数学(100分)
昼休み
12:10~13:30 英語(80分)
13:30~14:10 自己採点



【4学年】

国語

古典は、学習した分量が成績に結びつきやすい分野です。大問3(古文)…用言(動詞・形容詞・形容動詞)の文法的説明が出来ることが目標です。例えば、「老ひけり。」などの本文中での傍線部の説明ができるようになります。大問4(漢文)…まずは

漢文から書き下し文ができるように練習を重ねよう。問題集では、『基礎古典』の⑥番～⑩番レベルの漢文の問題を解けるくらいの力が必要になります。そして、古典で大切なことは、分からない語句や漢字はすぐに辞書を使って調べることです。一年かけてストックを作っていくイメージを持ちましょう。

現代文は、まずは大事な箇所に線を引きながら読むことが大事です。大問1(評論文)…接続語や筆者の主張部分。大問2(小説)…登場人物の心情部分。特に評論文の記述は、まずは本文から解答を見つけて、自力で解答を作り上げることをしてみましょう。最後には、必ず解答・解説と照らし合わせて、自分の解答を添削してみましょう。そして、全ての設問に共通して言える大切なことは、「設問で何が問われているか、しっかり吟味すること。」です。(細川)

1は小問集合となっており、基本的な内容である。展開・因数分解・ルート・連立不等式・絶対値の方程式である。これらは朝テストの内容でカバーできる。今一度見直しをしておくこと。2以降の(1)、(2)は基本的な内容で、これらも朝テストのレベル。(3)以降は難易度が高く、基本を確実に理解した上で、サクシードではB問題、チャートでは重要例題レベルになる。これを解ければ高得点が望める。

各大問の最初の問題が解けないことには先に進むことができないので、まずはサクシードのA問題を繰り返し解き、基礎力の定着を図ろう。また、難易度の高い問題に対しては、チャートを使って考えを深めていき、サクシードのB、C問題、チャートの重要例題に取り組む。もちろんチャートの参考事項などにも目を通しておくと良い。

普段の授業からきちんと取り組む事はもちろん、基礎基本の定着をまず目指しましょう。(椋沢)

数学

英語

昨今、わずか60分で大問6題を解答することになっている。第1問はリスニング。リスニングは、①耳で音を拾いながら、②頭の中で速読する行為である。

日々、英語の音声を聞き、英語を音読することで、体を使って①②について訓練する必要がある(第2問の会話問題は、本校では選択しない)。第3問は発音問題。第4問は文法・語法問題。昨年度は、代名詞・疑問詞・自動詞と他動詞の区別、時制などが問われた。学校の授業で行なわれていない部分もあるが、どれも典型的なものである。学校の授業を待たずに、Dual Scope(参考書)のCheckなどを用いて学習を進めてほしい。第5問と第6問は長文問題。英文の量に圧倒されるかもしれないが、設問を手がかりに「どこを読めばいいのか」を見極めるのがポイント。あきらめずにその箇所を見極めるのが第一歩である。家庭では、授業で扱う素材を大切に消化する学習をしてほしい(たとえば、毎日20分音読をする。文法を復習するなど)。第7問は英作文問題。日本語を見ただけで、「あ、あの表現を使えばいいのだな」とイメージできるのが理想。第3問と同じでDual Scopeの基本例文を毎日音読し、できるだけ多くの構文を頭の中に蓄えることが有益。英語は言語である。言語は毎日使用することで初めて身につく。机に向かうだけが語学ではない。まずは体や五感をフルにいかし、毎日、訓練することで成果となる。本番ではあきらめずに立ち向かおう。同じ人間が書いたものである。粘り強く取り組めば理解できると己を奮い立たせて英語、それに自分自身と格闘してほしい。(水戸)

アドバイスありがとうございました。



次のページは
5学年です。

【5 学年】

国語

「国語は古典で点数を安定させる。」これが鉄則です。現代文は差がつきにくい科目です。しかし、古典（古文・漢文）は学習したか学習しないかで、はっきり差がつきます。今回の模試は、特に古文の文法「助動詞の識別」に焦点を絞りました。後は古文単語です。100 単語、まずは 100 単語確実に身に付けます。

漢文は明説漢文の用字編を使いこなしましょう。漢文にも漢単語とでも言うべき重要語句があります。中等生の弱点は、用字編にあります。ここを朝テストで出題します。朝テストを目安に、共に学習を進めていきましょう。

まとめると模擬試験対策はこうなります。普段の授業の予習と朝テスト、それに課題をしっかりとやれば、そのまま模擬テスト対策になるということです。より丁寧に質を深める学習を展開してみませんか。

(杉下)

数学

出題範囲は【必答 2 題】数学 I（全範囲）、数学 A（場合の数と確率）【選択 2 題】数学 II（式と証明・高次方程式、図形と方程式、三角関数）数学 B（数列、ベクトル）です。①基本的な公式を覚えているか確認すること。②チャートにあるような問題が解けるのか（理解できるのか）各自確認すること。

最低限この①と②をやったうえで模試を受けるようにしてください。模試で点数をとること自体が目的ではありません。模試で点数をとれるよう準備をしていくことで、基礎を身につけることが目的だと私は思っています。そうすれば、応用力も身につきます。準備期間は、計画をたてて頑張ってください。7割とれば基礎力があると思っています。本気出して頑張ろう。(増井)

英語

出題範囲は、現在習っているところまでです。そのため現段階での英語の勉強方法や、問題へのアプローチの仕方ということで以下に説明します。

何よりも大切なのは**単語**です。言葉を知らずして、その言語は理解できません。まずは自分がもっている速読英単語をやりこみましょう。理解度の確認はシンプルに、赤シートで隠してすぐにその単語が出てくるかどうか。ぱっと出てこないのは使える単語とは言えません。その段階にいたるまでは最低限やる必要があります。発音についても CD を聞いて発音しながらやること。いろんな感覚器官を使って覚えると定着しやすくなりますし、発音問題にも自然に対応できます。ちなみに VINTAGE の後ろの方に発音問題のページがあります。アクセントの規則等わかりやすく整理されているので参考にしてください。

単語と同じく大事なのは**文法、語法、イディオム**です。VINTAGE の該当ページを同じく赤シートを使って解いてみてください。ただし、ただの暗記になると短期記憶になってしまいます。右ページの解説を見て頭の中で整理しながら覚えてください。整理されることで長期記憶へとつながります。特に、文法は一つ一つつながっています。体系化して覚えることを意識しましょう。語法とイディオムはコミュニケーションを意識した最近の傾向から出題が増えています。文法と同様にやってみてください。また解説の書いてある右ページにはいくら書き込みをしてもかまわないのでそれをノート代わりに使ってください。まず上記を徹底的に反復して自分のものにしてください。「わかる」にとどまらず「使える」にまで意識を高めて行うとより一層理解が深まります。

長文は単語や文法、語法、イディオムが頭に入っていると解くときにももちろん役に立ちます。それを前提とした上で、読み方のテクニックについてですが論説文と小説では読み方を変える必要があります。

論説文は1パラグラフ1アイディア（1段落に筆者の主に言いたいことは1つ）のルールに則ってその一つ一つの考え（キーセンテンス）をとるように読んでいきましょう。英語の文は基本的に序論・本論・結論のハンバーガー構造になっています。ハンバーガーは上下2枚のバンズがあって成り立ちますよね。それが序論と結論（基本的に1段落目と最後の段落）で、筆者の全体の主張になっているのでそこを読めばその文章の趣旨はわかります。またバンズに肉や野菜が挟まれています。それが本論で、文章の具体例や意見の根拠の部分になります。それを意識するだけで文章を読む時に軽重をつけて読むことができます。また段落ごとに日本語で簡易的なメモをとるパラグラフメモも効果的です。ぜひ一文一文を丁寧に読む視点と全体を鳥瞰的に読む視点をもって読んでください。

つづいて**小説**ですが、細かい心情の変化等があるため基本的には全文を読む必要があります。設問も本文に合っているものを選ぶ問題が必ず出題されます。誰が、いつ、どこで、何をしてというところをメモしながら読むと頭の中でそれぞれの登場人物の行動等を整理でき、そういった問題にも対応しやすくなります。

リスニングは「言える文は聞ける」ので、シャドーイングやディクテーションが効果的です。シャドーイングは授業の中でも行っているプロソディシャドーイング（音に注意して読む）とコンテンツシャドーイング（内容をイメージしながらシャドーイング）をそれぞれできるようになるまでやるとよいです。音の特徴、アクセント、イントネーション音の連結まで全てコピーする気持ちで取り組んでください。必ず効果が出ます。教材は教科書のCDでも英検などの問題集でもできます。

ライティングは何を書くかにもよりますが、現在の進研模試のレベルであれば、まず自分の表現の持ち駒を増やし、論理的な文章をつくることに徹しましょう。単語、文法、語法、イディオムを固めること。英語の表現にはパターンがあります。パターンをはめて文章は作られているのでそのパターンの引き出しをすぐに引き出せるかが重要です。そして論理的にするためには because や so 等を使って文の論理関係をはっきりさせることが必要です。英語表現の授業でいろんな表現を話し書く練習をしていますので、その定着に努めることが非常に効果的です。当面は、それで良いと思います。それ以上のライティング（パラグラフライティングやより洗練された和文英訳）をしたいのであれば田中まで来てください。おすすめの教材等を提示します。

さて、先日保護者の方から「自学には何をどのようにすればいいのか」という質問をいただきました。みなさんは自学にどのように取り組んでいるのでしょうか。自学にまず取り組んでほしいことは課題、教科書の内容を納得いくまで追求し、深い理解に達することです。私がこのように言う理由は課題をこなすことが目的になり表面的な学習になってしまっている人が多いように思うからです。一つ一つの単語や文の構造をこだわって見てみると様々な疑問がわいてくると思います。それを納得するまで調べ、理解し使えるようになってほしいと思います。それが自学の一步だと思います。また余力のある人は速読英単語、VINTAGE を朝テストの範囲に限らず自分の満足するだけ進めてください。さらに物足りない人には教材等を紹介しますのでぜひ聞きに来てください。以上、現段階での英語の勉強法等を書きました。自分の力を高める参考にしてもらえれば幸いです。（田中）